

# 地域全体の将来を見据えて

市では、西白河郡および東白川郡の8町村と連携し、将来にわたって皆さんが安心して暮らせる魅力ある地域づくりを行うため、「しらかわ地域定住自立圏構想推進協議会」を設立しました。  
今月号では、定住自立圏構想の概要をお知らせします。

## 定住自立圏構想

近年、急速な少子高齢化や大都市圏への人口流出などで、地方は経済力や活力を失いつつあります。このような状態が続けば近い将来、地方の各市町村は、暮らしに必要な行政サービスや都市機能を維持することが困難になると懸念されています。このため、市町村の枠組みを超えて連携し、地域全体の将来を見据えた施策を実施していくことが求められています。

8月29日、本市をはじめ、生活圏や経済圏をともしする西郷村、泉崎村、中島村、矢吹町、棚倉町、矢祭町、塙町、鮫川村の9市町村長が集まり、「しらかわ地域定住自立圏構想推進協議会」(会長は鈴木市長)を設立しました。

「定住自立圏構想」は国の施策で、人口規模など一定の条件を満たす中心市と近隣市町村が相互に役割分担し、連携・協力することにより、圏域全体で必要な生活機能の確保と、地域圏への人口定住を



### <施策の具体例>

- 医療 医療機関への支援等、地域医療を守る取り組みをさらに強化する。
- 公共交通 地域住民の日常生活を支えるバスの効果的なルート調査研究し利便性を向上させる。
- 観光振興 観光資源を組み合わせ付加価値を高めるとともに情報発信力を強化する。

- 中心市の条件
  - 人口5万人以上
  - 昼夜間人口比率が原則1以上
  - 原則3大都市圏(東京、名古屋、大阪)外



▲協議会の様子

9市町村が役割分担、連携・協力することで、しらかわ地域に必要な生活機能を確保し、人口を定住を促していきます。

## 「中心市宣言」で意思を表明

8月29日、協議会の設立後、鈴木市長が中心市宣言を行いました。県内では、南相馬市に次いで2例目となります。



▲中心市宣言を行う鈴木市長

## 中心市宣言とは

中心市の要件を満たす市が、地域全体における人口定住のため、近隣の市町村と連携しようとする場合に、地域として必要な機能の確保に関して中心的な役割を担う意思を明らかにするため、所定の事項を記載した書面を作成し公表することです。  
中心市宣言は、定住自立圏形成協定の締結等を進めたいと考える中心市が、その意思を示す最初の機会となります。

## 今後必要となる手続き

### 定住自立圏形成協定の締結

本市が近隣の町村と、相互に役割分担しながら連携・協力していく内容を明示した「定住自立圏形成協定」を、それぞれの議会の議決を経た後、1対1で締結します。  
本市と各町村の間で、1対1の協定締結を積み重ねる結果として、「しらかわ地域定住自立圏」が形成されます。

### 定住自立圏共生ビジョンの策定

協定を締結後、圏域の将来像やその実現に向け、具体的な事業を掲載した「定住自立圏共生ビジョン」を策定します。  
策定にあたっては、「圏域共生ビジョン懇談会」を組織し、圏域住民の意見を反映させるよう努めます。



安心して暮らせる魅力ある地域づくりのため、定住自立圏構想を推進します。

## 中心市宣言(抜粋)

白河市は、圏域8町村と共にこれまで培ってきた連携・協力関係をさらに深め、各市町村が有する都市機能や地域資源を最大限活用し、「定住」の受け皿となる「しらかわ地域定住自立圏」を形成するために全力で取り組んでいくことをここに宣言します。

平成26年8月29日

白河市長 鈴木和夫



中心市宣言を行ったことで、定住自立圏形成に向けた一歩を踏み出しました。全国では96例目となります。